

弟子屈町から5人が入賞

自然の番人ポスターコンクール



優秀賞に輝いた高橋希歩さんの作品

釧路管内市町村「自然の番人宣言」推進委員会主催のポスターコンクールの入賞者が発表されました。

自然の番人宣言は、廃棄物の不法投棄やポイ捨てなどから貴重な自然環境を守り、将来に継承していくことを目的に、2006年に管内全8市町村共同で行っています。ポスターコンクールは、子どもたちに環境保護への関心を高めてもらうことと、宣言から6年を迎え、あらためて事業を周知することを目的に行われました。

コンクールには、管内市町村の小中学生から234点の応募があり、最優秀賞の釧路管内市町村「自然の番人宣言」推進委員会会長賞には、標茶町立阿歴内小学校6年の秋葉香里さんの作品が選ばれました。他に優秀賞8点、佳作24点が選ばれました。本町からの入賞者は次のとおりです。(敬称略)

- ▼優秀賞／高橋希歩(弟子屈中2年)
- ▼佳作／松田夏希(同)、高橋吏玖(昭栄小6年)、森内ひなの(同5年)、大野孝心(同2年)



効率よく町内を回るバス

好評だった2 daysえこパスポート

冬季の環境にやさしい観光交通運行が終了



摩周湖へも多くの観光客が訪れました

弟子屈町地域公共交通活性化協議会(会長・徳永町長)が行う「弟子屈2 days えこパスポート」事業が終了しました。事業は、1月26日～2月24日の30日間にわたって行われました。好評だった夏季(7月14日～10月8日)に引き続いての実施です。えこパスポートは、JR釧網本線の摩周川湯温泉、町内バスが2日間乗り放題で1千500円(大人)というもの。車を離れ、公共交通機関を利用した環境に優しい旅と、2日間乗り放題にできることで、購入者の観光を提案することが目的で、購入者には、さまざまな特典も用意されました。また、通常の料金より格安でJRやバスが利用できる、町民の皆さんにも便利なパスポートを活用することで、地域公共交通の活性化を目指すという目的もありました。

えこパスポートは、個人観光客の皆さんを中心に非常に好評で、購入された方からは「とても便利で、お得なチケットだった」といった声が寄せられています。

町の話題



町の話題

暮らしと行政との関わり学ぶ

弟小6年生が社会科の授業で役場へ要望と質問



要望や質問を行う児童(上) 役場職員からの回答に熱心に聴き入る児童(下)

弟子屈小学校(阿部典子校長)の6年生が2月18日、役場を訪れ、町に対する要望などを行いました。社会科の「身近な暮らしと政治」という授業の一環で行ったもの。自分たちの暮らしと行政がどのように関わっているかを理解することが目的です。児童は、役場の各課担当者を前に、要望や、それに関する質問を展開。担当者が回答を行いました。児童からは「室内練習場が欲しい」「砂利道の整備をしてほしい」「お祭りを増やしてほしい」「大きなホテルが欲しい」などの主張があり、担当者が一つ一つ回答。児童は懸命にメモを取るなどして聴き入っていました。

町の話題



町の話題

多彩なイベントで冬の寒さを楽しむ

摩周ウインターフェスタ2013



チューブスライダーは子どもに大人気

20秒で何個取れるか ジャガイモ拾い



今年初登場のチューブスライダー



冬の夜空を彩る花火

氷の滑り台に歓声

9日の夜には、摩周冬空花火の打ち上げが行われ、観客からは歓声が上がっていました。

摩周ウインターフェスタ2013(同実行委員会主催)が2月9・10の両日、ふれあいスペースコラーレ(弟子屈町商工会駐車場)で開催されました。イベントの少ない冬季の町を活性化させようと毎年開催されているもので、今年で7回目です。両日とも晴天に恵まれ、楽しみにしていた子どもたちや家族連れなど、たくさんの方が会場を訪れました。会場には今年も、巨大な氷の滑り台が設置されたほか、初めてチューブスライダーが用意され、子どもたちの人気を集めていました。アイスキャンドルなどが飾られた会場では、ジャガイモ拾いやお菓子まき、釧路管内の食材を使ったご当地ビザの無料配布、摩周流しそば、お楽しみ抽選会、雪像作りなどの多彩なイベントが行われ、訪れた方を楽しませました。また、氷上綱引き大会では、熱い戦いが繰り広げられました。



「摩周流しそば」では摩周そば生産組合の皆さんによる手打ちそばが